

「市民による市政評価」

(平成20年度施策・事業に対する二次評価)

結果報告書

平成21年11月

企画部総合政策課

目 次

I	調査の概要	-----	1
	1. 調査の趣旨、目的	-----	1
	2. 調査方法	-----	1
	3. 回収状況	-----	1
II	結果の分析方法	-----	2
	1. 回答者の特徴の把握	-----	2
	2. 集計方法、判定方法について	-----	2
III	回答者の特徴	-----	4
	1. 母集団との比較	-----	4
	2. 回答者の特徴	-----	4
IV	評価の結果	-----	5
V	まとめ	-----	1 8
	1. 必要度（有効性）の結果について	-----	1 8
	2. 調査結果の今後の活用について	-----	1 9

I 調査の概要

1. 調査の趣旨、目的

市の施策、事業が市民の日常の問題意識と合致しているかを検証するため、平成20年5月、「市民による市政評価」の一次調査を実施しました。一次調査は、各分野における市民の現状に対する満足度と20年度の主要事業のうちから新規、拡充を含む75事業について、事務事業の有効性（期待度）に対する市民の意見を求めました。

一次調査が「これから行う取り組みや現在行っている取り組み」について施策ごとに総括的な意見を求めたのに対し、二次調査は一次と同一の事業のうちから抽出した23事業について事業単位ごとに結果や進捗状況を報告し、今後の継続の必要性についての意見を求めるものであり、一次調査の延長上にあります。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 一次調査送付対象者 1,000人
- (2) 調査方法 郵送アンケート（無記名回答）
- (3) 調査時期 平成21年5月15日（発送）～5月29日（回収期限）

3. 回収状況

一次調査は無作為抽出した1,000人へ発送し、有効回答者は466人、回収率は46.6%でした。

二次調査は、一次調査対象者1,000人に再度発送し、有効回答者は435人、回収率は43.5%でした。

(表1)地域別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	
全 体	1,000	435	43.5%	
内 訳	1. 大曲	410	178	43.4%
	2. 神岡	60	31	51.7%
	3. 西仙北	109	40	36.7%
	4. 中仙	119	45	37.8%
	5. 協和	89	40	44.9%
	6. 南外	45	22	48.9%
	7. 仙北	86	34	39.5%
	8. 太田	82	38	46.3%
	0. 無記入		7	

(表2)年代別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
全 体	1,000	435	43.5%
1. 20代	120	24	20.0%
2. 30代	140	40	28.6%
3. 40代	154	64	41.6%
4. 50代	215	92	42.8%
5. 60代	171	109	63.7%
6. 70代～	200	104	52.0%
0. 無記入		2	

Ⅱ 結果の分析方法

1. 回答者の特徴の把握

二次調査は無作為抽出とはいえ、そのため元々の母集団（20歳～74歳の大仙市民）に対する回答者の構成を確認し、回答者の偏りを把握する必要があります。

2. 集計方法、判定方法について

比較のため、集計方法等は一次調査と同一とします。主な点は以下のとおりです。

(1) 集計方法

回収した調査票は、「必要」「ある程度必要」等、それぞれの選択肢を選択した人数について、回答者全体の集計を行います。

(2) 集計の判定

それぞれの選択肢に重みを付けた加重平均を算出し、それに対応した3区分のアルファベット（A～C）で表記します。

① 選択肢の重み

必要	5点
ある程度必要	4点
どちらともいえない	3点
あまり必要でない	2点
必要でない	1点

② 算式

$$\begin{aligned} \text{加重平均点} = & \left[\frac{\text{「必要」を選択した人数} \times 5\text{点}}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \right. \\ & + \frac{\text{「ある程度必要」を選択した人数} \times 4\text{点}}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \\ & + \frac{\text{「どちらともいえない」を選択した人数} \times 3\text{点}}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \\ & + \frac{\text{「あまり必要でない」を選択した人数} \times 2\text{点}}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \\ & \left. + \frac{\text{「必要でない」を選択した人数} \times 1\text{点}}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \right] \end{aligned}$$

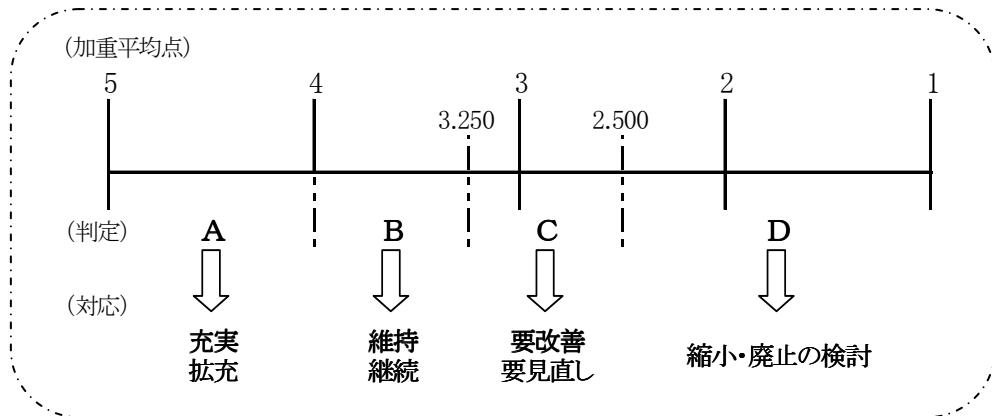
(小数点以下3位まで)

③ 期待度の判定とそれに対する対応

判定については、一次調査と同じく4段階で判定します。

加重平均点の範囲	判定	判定に対する対応
$5.000 \geq \text{加重平均点} > 4.000$	A	充実・拡大 (構成する事業の拡充・拡大)
$4.000 \geq \text{加重平均点} > 3.250$	B	現状の水準を維持 (構成する事業の継続実施)
$3.250 \geq \text{加重平均点} > 2.500$	C	要改善、要見直し (構成事業の改善・内容の見直し)
$2.500 \geq \text{加重平均点} \geq 1.000$	D	要縮小 (構成事業の縮小・廃止等の検討)

【イメージ図】



Ⅲ 回答者の特徴

1. 母集団との比較

(1) 地域別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
大曲地域	26,532	41.1	178	40.9
神岡地域	3,996	6.2	31	7.1
西仙北地域	6,958	10.8	40	9.2
中仙地域	7,758	12.0	45	10.3
協和地域	5,834	9.0	40	9.2
南外地域	2,994	4.6	22	5.1
仙北地域	5,415	8.4	34	7.8
太田地域	5,018	7.8	38	8.7
未記入			7	1.6
計	64,505	100.0	435	100.0

(2) 年代別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
20, 30代	17,467	27.1	64	14.7
40, 50代	27,012	41.9	156	35.9
60代以上	20,026	31.0	213	49.0
未記入			2	0.5
計	64,505	100.0	435	100.0

(3) 男女別状況

	母集団(20歳以上75歳未満) (平成17年10月1日現在)		二次調査回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
男	31,075	48.2	184	42.3
女	33,430	51.8	241	55.4
未記入			10	2.3
計	64,505	100.0	435	100.0

※母集団の人数は、平成17年国勢調査によるものです。

2. 回答者の特徴

- (1) 地域別では、概ね母集団の特徴を維持しています。
- (2) 年代別では、20, 30代の回答が少なく、60, 70代の回答が多くなっています。
- (3) 男女別では、母集団と比較すると、女性の回答がやや多めになっています。

IV 評価の結果

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくり

(1-1) 保健・医療の充実について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・「はしか」まん延防止対策として、今まで定期予防接種として実施していた、1期、2期の予防接種に、新たに中学1年生を対象とした3期、高校3年生相当年齢の方を対象にした4期を追加し、実施します。
- ・健康づくり支援のうち、フッ素洗口事業では、市内全保育園・幼稚園、小学校に加え、中学校まで拡大して実施します。
- ・児童生徒をはじめ、地域住民が健全な食生活ができるよう、地域の特性を踏まえた「食育推進計画」を策定します。
- ・**自殺予防対策については、各保健センターでの相談、市民を対象とした研修会の実施、街頭キャンペーン等での啓発等を推進します。**

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 平成20年度は以下のとおり実施しました。
- ・大仙市自殺予防ネットワーク推進協議会の設置(委員19名、20年度3回開催)
 - ・各保健センターでの相談受付(相談延べ25件)
 - ・研修会の開催
 - ①「多重債務は必ず解決する」(民生委員、児童委員280人参加)
 - ②「大仙市こころといのちを考える集い」(市民420人参加)
 - ③各地域の健康増進センター主催の研修会(計49回開催、市民1,228人参加)
 - ・街頭キャンペーンの実施(9月10日)
 - ・自殺予防パンフレットの作成
(担当は 健康増進センター です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	208	168	36	13	3	7	435
構成比	47.82%	38.62%	8.28%	2.99%	0.69%	1.61%	100.00%

平均点	判定
4.320	A

◇市民からの主な記述意見

- ・研修の内容を市民に行き届かせる方策が必要ではないかと思う
- ・相談を受けるだけでなく、積極的にPRする体制をとってほしい

(1-2) 子育て支援の充実について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・無料で妊婦健診と妊婦歯科検診(合わせて16回)を、継続で実施します。
- ・医療給付扶助事業とすこやか子育て手当給付事業についても継続で実施します。
- ・**放課後児童クラブは新たに大曲地域の四ツ屋地区と大川西根地区に開設し、全地域14か所で実施します。**
- ・子育て支援拠点を設置し、地域での世代間を超えた子育て支援及び地域住民の交流の場として活用していた「大仙市寺館地域ふれあいセンター」を西仙北地域に開設します。
- ・地域住民が主体となり、世代間交流等の促進と自治会による子育て、地域づくり活動を推進するため「市民協働型子育て支援モデル事業」を実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 平成20年4月から四ツ屋児童クラブ(大曲地域四ツ屋公民館内)と大川西根児童クラブ(大曲地域大川西根小学校内)が新たに開設し、市内全地域14ヶ所で実施しています。
- 既に400名を超える利用児童がいることから、今後の増設を検討していく予定です。
- (担当は 児童家庭課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	247	126	30	16	5	11	435
構成比	56.78%	28.97%	6.90%	3.68%	1.15%	2.53%	100.00%

平均点	判定
4.401	A

◇市民からの主な記述意見

- ・放課後児童クラブや保育園などの情報を気軽に見れるものがあると助かる
- ・今後はクラブの質や施設の向上を期待する
- ・市内全域での開催を希望する

(1-4)高齢者福祉の充実について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・軽度生活援助事業や緊急通報体制等整備事業、配食サービス事業など、高齢者の生活を支える在宅サービス事業を実施します。
- ・敬老の日事業では、各地域で地域特性を生かした敬老会の開催と、年度内に88歳を迎える高齢者に対して敬老会時2万円、100歳を迎えた高齢者に対して誕生日に20万円の長寿祝い金を支給します。
- ・申請により65歳以上の高齢者に対して、年度内24回分(1回800円)を限度にはり、灸、マッサージの施術助成券を交付します。
- ・温泉ふれあい入浴サービス事業(申請により、満60～69歳で、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と満70～79歳の方は入浴料を2分の1に減額、満80歳以上の方は入浴料を免除。一人年間24枚を上限として市関係温泉施設の入浴無料券及び割引券を交付)を継続実施します。
- ・運動器の機能向上や閉じこもり予防、認知症予防など、要介護状態になることを予防するための介護予防事業を実施します。
- ・**地域包括支援センターを市内3ヶ所に設置し、高齢者の健康・医療・福祉をはじめ、生活全般にわたる総合相談支援を行います。**

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

市内3ヶ所に設置した地域包括支援センターは、一般的な高齢者相談にとどまらず、虐待相談や消費者被害防止に関する相談など、様々な相談の窓口としての機能を果たしています。

- ・一人暮らしなど、緊急時等に支援を要する
高齢者の状況把握件数 2,359件
- ・相談対応件数 327件
- ・事業所等社会資源調査件数 176件
- ・民生児童委員協議会との連携 22件
など

(担当は 包括支援センター です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	285	120	14	5	1	10	435
構成比	65.52%	27.59%	3.22%	1.15%	0.23%	2.30%	100.00%

平均点	判定
4.607	A

◇市民からの主な記述意見

- ・役割業務のアピール等、地域包括支援センターの更なる周知、広報をしてほしい

2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり

(2-1) 学校教育の充実について①

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・学校生活支援員(33名)、発達支援サポーター(幼稚園)(4名)、複式学級支援員(1名 大沢郷小学校に配置)、日本語指導支援員(2名)を配置し、様々な課題をもつ幼児、児童生徒の支援を行います。
- ・**外国語指導助手(ALT)の配置や国際交流員(CIR)を活用し、国際理解教育や英語科教育の充実を図り、市民全体の国際感覚向上を目指します。**
- ・全中学校の代表生徒が出席して開催する「大仙市中学生サミット」でテーマを設定し、その共通テーマを市内全小・中学校で実践する「心ふれあうさわやか大仙事業」を実施します。
- ・児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供して、児童生徒の豊かな感情の育成を図るとともに、健全な成長を促すため、「全小・中学校芸術鑑賞事業(「わらび座」の劇団による公演を予定)」を実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- ALTの配置については、平成21年度からの小学校における外国語活動(5,6年生対象、週1時間程度)の実施に向けて1名増員するとともに、地域割りを変更し、各校に均等に訪問できるように改善を図りました。
- CIRの活用については、幼稚園及び小・中学校での国際理解教育活動や生涯学習講座での国際交流タイムの実施等により市民との交流を図りました。

(担当は 学校教育課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	188	156	51	24	8	8	435
構成比	43.22%	35.86%	11.72%	5.52%	1.84%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.152	A

◇市民からの主な記述意見

- ・幼少期からの国際化教育の充実をさらに期待する

(2-1) 学校教育の充実について②

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・学校生活支援員(33名)、発達支援サポーター(幼稚園)(4名)、複式学級支援員(1名 大沢郷小学校に配置)、日本語指導支援員(2名)を配置し、様々な課題をもつ幼児、児童生徒の支援を行います。
- ・外国語指導助手(ALT)の配置や国際交流員(CIR)を活用し、国際理解教育や英語科教育の充実を図り、市民全体の国際感覚向上を目指します。
- ・**全中学校の代表生徒が出席して開催する「大仙市中学生サミット」でテーマを設定し、その共通テーマを市内全小・中学校で実践する「心ふれあうさわやか大仙事業」を実施します。**
- ・児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供して、児童生徒の豊かな感情の育成を図るとともに、健全な成長を促すため、「全小・中学校芸術鑑賞事業(「わらび座」の劇団による公演を予定)」を実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 平成20年5月に市内全中学校の生徒会長12名が参加して「平成20年度第1回中学生サミット」を開催し、あいさつ向上を目指した「おはようプロジェクト」の各学校単位での継続と、新たに「REVOプロジェクト(※)」を展開することを決定しました。
- 平成21年3月には「平成20年度第2回中学生サミット」を開催し、各校の「REVOプロジェクト」活動に関する情報交換をするとともに、今後もアルミ缶等の回収をはじめとする地球や地域にやさしい活動を市内全中学校が家庭や地域と協力し、実践していくことを決定しました。

(※)REVOとは「Recycle(リサイクル)」、「Ecology(エコロジー)」、「Volunteer(ボランティア)」の頭文字から命名した造語です。

(担当は 学校教育課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	189	170	52	13	5	6	435
構成比	43.45%	39.08%	11.95%	2.99%	1.15%	1.38%	100.00%

平均点	判定
4.224	A

◇市民からの主な記述意見

(2-2)生涯学習の推進について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

・全小学校区において、地域住民の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動、住民との交流活動を行う「放課後子ども教室推進事業」を実施します。主な内容としては、放課後体験教室(朗読、読み聞かせ、囲碁教室等)、週末体験教室(国際理解、科学体験、芸術体験、スポーツ体験等)、安全安心な居場所・自由なあそび場の提供等です。

・市内の民謡団体の協力を得て、全8地域を巡回しながら歌、踊り等を披露し、遠くて足を運べなかった方々にも生きがいの機会を提供できるよう、出前民謡「ふるさと民謡めぐり」を実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

以下の事業を実施しました。

- 「わくわくスペース」
(民話語り・朗読・紙芝居・読み聞かせ)
・大曲地域8校、西仙北地域3校、南外地域1校で実施。
・参加者(延べ人数)1,350名
- 「えいごdeあそぼっ!」
・大曲職業訓練センターを会場に開催
・参加者84名
- 「自然ふれあい塾」(大曲地域限定)
・ファミリースキー場を会場に開催
・参加者57名
- 「古代のひみつ発見ツアー」(大曲地域限定)
・埋蔵文化センターを会場に開催
・参加者40名
- 「わくわく体験活動」
(ちぎり絵教室)
・大曲地域、協和地域、太田地域で開催
・参加者91名
- 「子ども囲碁大会」
・仙北ふれあい文化センターで開催
・参加者50名
- 「冬休み料理教室」
・西仙北中央公民館、大曲農業高校で開催
・西仙北高校、大曲農業高校の協力で実施
・参加者計40名
- 「プロ棋士の子ども囲碁教室」
・大曲交流センターで開催
・(財)日本棋院との協力事業
・参加者40名
- 「子ども囲碁普及事業」
・23の全小学校区で実施
・参加者188名

(担当は 生涯学習課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	152	199	51	22	4	7	435
構成比	34.94%	45.75%	11.72%	5.06%	0.92%	1.61%	100.00%

平均点	判定
4.105	A

◇市民からの主な記述意見

- ・事業により開催地域が偏っている。身近で開催してもらえればありがたい
- ・参加者が多くなるように、様々な体験教室を考えてほしい

3. 活き活きと希望を持って活躍できるまちづくり

(3-1) 農林水産業の振興について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・地域振興作物の作付けの拡大を推進するため、出荷を目的とした野菜栽培の取り組みへの助成と燃料菜の花の作付け実証事業を実施します。
- ・集落営農法人・組織の設立や育成、レベルアップに専門指導員と共に努めます。
- ・林業振興については、造林、間伐、保育事業や森林整備地域活動支援交付金事業等を支援します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

出荷を目的とした野菜栽培の取り組みへの助成としては、担い手の創意工夫により戦略的に取り組む新規の野菜栽培等のための面積拡大に対して市独自で支援しました。
燃料菜の花の作付け実証事業としては、市内7地域に総面積7.16haの「菜の花作付拡大実証圃」を設置しました。市では3年間の実証事業を通して、菜種の栽培技術と搾油、販売ルートの確立を推進する予定です。

(担当は 農林振興課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	182	134	82	20	7	10	435
構成比	41.84%	30.80%	18.85%	4.60%	1.61%	2.30%	100.00%

平均点	判定
4.092	A

◇市民からの主な記述意見

- ・野菜栽培の取り組みとともに地産地消を推進すべきではないか
- ・補助制度が多い気がする。補助以外の方法も検討すべき

(3-2) 商業の振興について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・地元関係者や商工団体等と協議を進め、まちづくりの視点で全庁を挙げて「大仙市中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組みます。
- ・商工団体に対する補助(大曲商工会議所補助金、大仙市商工会補助金)や商工会の合併メリットを活かすための商工業ビジョン策定に対する支援(大仙市商工業振興ビジョン策定事業補助)を行い、市内の商工業の振興を図ります。
- ・中小企業者の資金需要に対し、市融資制度を利用し、取引銀行から融資を受けた場合に貸付利率を軽減しているほか、信用保証料を市が全額負担しています。また、その設備投資分については利子の一部を助成しています。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年度は大曲商工会議所と大仙市商工会が行った小規模事業者の経営指導や商工業振興対策、労務改善指導などの経営改善普及事業に対して事業費の一部を補助金として交付しました。
また、商工業者と消費者への意識調査、先進地研修、地区内の現況調査などを行ったうえで大仙市商工会が21年3月に策定した商工業振興ビジョンについても、事業費の一部を補助金として交付しました。今後、大仙市商工会では「食と農」を中核に据えた6つのプロジェクトの実現に努めていく予定です。

(担当は 商業労政課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	140	141	108	33	8	5	435
構成比	32.18%	32.41%	24.83%	7.59%	1.84%	1.15%	100.00%

平均点	判定
3.865	B

◇市民からの主な記述意見

- ・地元事業者が元気になるよう、支援を継続してほしい

(3-3)工業の振興について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・神岡地区(神岡地域神宮寺の一部)が「秋田県新規工業団地」の最適地との評価をされたことを受け、大規模工業団地の実現に向け、県に強く要請するとともに、インフラ整備等を含め、計画・設計、役割分担についての協議を進めます。
- ・引き続き企業情報を収集し、企業誘致に積極的に取り組みます。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年度は新規企業誘致の情報収集のため、首都圏で企業の代表を努める大仙市出身者等を招いての懇話会を初めて開催したほか、県主催の首都圏企業との懇話会、関東及び東海地区企業を対象にした立地説明会などに参加し、人的ネットワークを広げ、大都市圏の企業との接点を持つための活動を行いました。

(担当は 企業対策室 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	233	124	51	15	4	8	435
構成比	53.56%	28.51%	11.72%	3.45%	0.92%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.328	A

◇市民からの主な記述意見

- ・雇用促進のためにも、企業への更なる積極的なアプローチを期待する
- ・早期に企業誘致できるよう、進めてほしい

(3-5)雇用の安定、就労の促進について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・**大仙市雇用助成金制度については、工業等振興条例等の適用事業者向けの雇用奨励助成金と市内中小企業向けの雇用拡大助成金制度のPRをして、今まで以上に制度の活用を呼びかけ、求人の喚起を図り、若年層の雇用機会の拡大を図ります。**
- ・出稼ぎ対策については、就労前並びに就労中の健康診断や広報等の地域情報の提供などを通じて、援護事業を継続して実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

大仙市雇用助成金制度(雇用拡大助成金、雇用奨励助成金)を市の広報やホームページへ掲載するとともに、春秋の企業訪問(28社)で制度の活用を呼びかけ、求人の喚起を図りました。対象となった一般(45歳未満)67名、新卒者26名の新規雇用に対し、合計1,785万円の助成金を事業所へ交付しました。

また、経済の悪化にともなう緊急措置制度として、大仙市緊急雇用助成金制度を創設し、市の広報やホームページへ掲載するとともに、74社の企業訪問を通じ制度紹介と求人の喚起を図りました。対象となった26名の新規雇用に対して405万円の助成金を事業所へ交付しました。

今後も対象となる新規雇用に対して各制度により助成金を交付し、雇用機会の拡大と若年層の地域定住を図ります。

(担当は 商業労政課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	291	100	31	10	1	2	435
構成比	66.90%	22.99%	7.13%	2.30%	0.23%	0.46%	100.00%

平均点	判定
4.547	A

◇市民からの主な記述意見

- ・45歳以上の雇用環境整備にも期待する
- ・新卒者が地元に残れるように雇用の創出を図ってほしい

4. 生活の基盤が整ったまちづくり

(4-1) 道路の整備について①

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・市道の維持管理は、老朽化による破損箇所について、舗装や側溝・街路灯修繕工事等を実施します。
- ・生活道路の整備は、**大曲(25路線)、神岡(4路線)、西仙北(5路線)、中仙(12路線)、協和(5路線)、南外(4路線)、仙北(3路線)、太田(4路線)の62路線について新設改良工事を予定しています。**
- ・幹線道路の整備では、国道13号と美郷町六郷地区を結ぶ「古四王際飯詰線」、西仙北ICから田沢湖・角館に通じる「黒森山線」、中仙地域の清水地区から国道105号に通じる「中仙4号線」を引き続き整備するほか、秋田新幹線に架かる西仙北地域と協和地域の3つの跨線橋の耐震補強も継続して実施します。
- ・大曲地域の「宮林線」は、歩道の整備を継続します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 生活道路の整備については、当初計画のうち大曲(18路線)、神岡(4路線)、西仙北(5路線)、中仙(10路線)、協和(5路線)、南外(4路線)、仙北(3路線)、太田(4路線)の53路線を整備しました。
- また、大曲地域で当初計画に無かった四ツ屋大曲線の側溝改良を実施しました。

(担当は 道路河川課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	183	157	50	31	6	8	435
構成比	42.07%	36.09%	11.49%	7.13%	1.38%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.124	A

◇市民からの主な記述意見

- ・緊急性の高い道路を優先的に工事してほしい
- ・冬期間の交通に支障をきたす道路について工事をお願いしたい

(4-1) 道路の整備について②

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・市道の維持管理は、老朽化による破損箇所について、舗装や側溝・街路灯修繕工事等を実施します。
- ・生活道路の整備は、大曲(25路線)、神岡(4路線)、西仙北(5路線)、中仙(12路線)、協和(5路線)、南外(4路線)、仙北(3路線)、太田(4路線)の62路線について新設改良工事を予定しています。
- ・**幹線道路の整備では、国道13号と美郷町六郷地区を結ぶ「古四王際飯詰線」、西仙北ICから田沢湖・角館に通じる「黒森山線」、中仙地域の清水地区から国道105号に通じる「中仙4号線」を引き続き整備するほか、秋田新幹線に架かる西仙北地域と協和地域の3つの跨線橋の耐震補強も継続して実施します。**
- ・大曲地域の「宮林線」は、歩道の整備を継続します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 幹線道路の整備については、当初計画のとおり事業を実施しました。
- ・古四王際飯詰線
道路改良工事 L=160m
 - ・黒森山線
舗装工事 L=825m 法面緑化工 A=820㎡
道路改良工事L=60m 地下排水工L=58.9m
 - ・中仙4号線
函渠及び館ノ内橋解体の設計業務委託
 - ・跨線橋耐震補強
耐震補強調査と落橋防止工事を業務委託

(担当は 道路河川課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	157	171	69	26	9	3	435
構成比	36.09%	39.31%	15.86%	5.98%	2.07%	0.69%	100.00%

平均点	判定
4.021	A

◇市民からの主な記述意見

- ・実施した他にも整備が必要な道路があるので、早急に対応してほしい
- ・工事が長いと交通に支障をきたすので、早期の工事完了を願う

(4-2)公共交通の整備について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

・生活バス路線廃止及び交通空白地域解消のため、市民コミュニティバス、デマンド型乗合タクシーの実証運行を実施します。

- ・バス路線廃止に伴う代替手段としての乗合タクシーは、西仙北地域(防災ST～刈和野駅の1路線)、仙北地域(長仙寺、上野田～大曲の2路線)で実施します。
- ・交通空白地域解消を図るための乗合タクシーは、大曲地域(内小友地区山王堂、四ツ屋地区新屋敷、松倉地区～大曲の3路線)、神岡地域(大野、関金、ニタ子、船戸～神岡支所の4路線)、南外地域(西板戸、大杉、赤平後野～神岡支所の3路線)で実施します。
- ・太田地域では市民コミュニティバス(宮羽～太田診療所、他10路線)を運行します。
- ・大曲地域の循環バス及び中仙地域の乗合タクシーは、市で統一した料金体系(コミュニティバス200円、乗合タクシー500円)のもと、継続で実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年度は以下のとおり運行しました。

【乗合タクシー】

- 大曲地域:2路線(12～3月限定運行)
- 神岡地域:4路線 西仙北地域:1路線
- 南外地域:3路線 仙北地域:2路線

【乗合ジャンボタクシー】

- 中仙地域:5路線

【循環バス】

- 大曲地域:1日8便

【コミュニティバス】

- 太田地域:10路線 1日2便

【患者輸送バス】

- 西仙北地域:大沢郷3路線 各週1便運行

【スクールバスを利用した生活路線バス】

- 協和地域:5路線 小学校統合にあたり、始業終業時間を考慮したダイヤ編成

【市民バス】

- 南外地域:4路線 庁用バスを利用

今後も運行システムの改善を図りながら、継続を目指します。

(担当は 総合政策課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	201	147	58	19	2	8	435
構成比	46.21%	33.79%	13.33%	4.37%	0.46%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.232	A

◇市民からの主な記述意見

- ・乗車人数が少なくても、必要とする人がいる。バスの大きさを変える等して路線を維持してほしい
- ・各地域内で買い物等をするためにもそれぞれの地域に循環バスや循環タクシーがあるとありがたい
- ・高校生、高齢者など、利用者にあった路線や時間帯の再構築を望む

(4-5)下水道の整備について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

・公共下水道事業(特定環境保全公共下水道事業含む)では、大曲、神岡、中仙、南外の各地域で整備を進めます。

- ・農業集落排水事業では、協和地域峰吉川地区では建築工事、機械工事、電気工事を、中仙地域田ノ尻地区及び協和地域沢庄地区では場内整備を実施します。
- ・中仙、協和、太田の3地域では管路延長を実施するほか、中仙及び協和の18か所で中継ポンプの設置工事を実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年度は以下のとおり実施しました。

- ・大曲地域
管渠工事(飯田・日の出・戸巻・中通・丸子地区)
- ・神岡地域
管渠工事(駅向・北檜岡地区)
- ・中仙地域
管渠工事(豊川地内)
- ・南外地域
管渠工事(赤平・上野地内)、処理場建設
また、上の地域すべての平成21年度以降の実施設計等を行いました。

(担当は 下水道課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	211	136	59	17	6	6	435
構成比	48.51%	31.26%	13.56%	3.91%	1.38%	1.38%	100.00%

平均点	判定
4.233	A

◇市民からの主な記述意見

- ・全市的な整備を早急に実現してほしい
- ・整備とともに利用率の向上を図るよう、すすめてほしい

5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり

(5-4) 衛生環境の整備について①

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・不法投棄監視カメラを導入するほか、現在実施している監視パトロールの回数を増やし、監視体制を強化することで、捨てられない環境づくりを推進します。
- ・家庭ごみ有料化と併せて実施する減量化、再資源化のため、全市で食品トレイ、発泡スチロールの拠点回収を実施します。
- ・電気式生ごみ処理機の購入者に購入費の一部を補助します。
- ・地域の団体が行う資源ごみ回収に対して補助します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 不法投棄監視カメラは平成20年度に県が設置したものとあわせて2台導入し、不法投棄常習箇所の監視の強化を図っています。
- また、継続して実施している不法投棄監視員による巡回パトロールは平成20年度は月1回だったものを月3回に増やして実施しています。
- 家庭ごみの有料化に伴い、不法投棄の増加が懸念されたため、監視体制の強化を図りましたが、特に不法投棄が増加した形跡は見られませんでした。

(担当は 環境課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	214	161	34	12	4	10	435
構成比	49.20%	37.01%	7.82%	2.76%	0.92%	2.30%	100.00%

平均点

4.339

判定

A

◇市民からの主な記述意見

- ・監視カメラも重要だが、パトロールを強化して、捨てられない環境作りを進めてほしい
- ・ごみ袋の高くなって、不法投棄以外にもポイ捨てや農家等の野焼きが目立つ。対策を強化してほしい

(5-4) 衛生環境の整備について②

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・不法投棄監視カメラを導入するほか、現在実施している監視パトロールの回数を増やし、監視体制を強化することで、捨てられない環境づくりを推進します。
- ・**家庭ごみ有料化と併せて実施する減量化、再資源化のため、全市で食品トレイ、発泡スチロールの拠点回収を実施します。**
- ・電気式生ごみ処理機の購入者に購入費の一部を補助します。
- ・地域の団体が行う資源ごみ回収に対して補助します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- 平成19年度は大曲地域のみで試験的に実施していた食品トレイの拠点回収を平成20年度からは市全域で実施し、市内35ヶ所の回収拠点で計550kgを回収しました。
- また、平成20年度から新たに実施した発泡スチロールの回収については、春と秋の年2回実施し、1,140kgを回収しました。

(担当は 環境課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	270	127	24	6	3	5	435
構成比	62.07%	29.20%	5.52%	1.38%	0.69%	1.15%	100.00%

平均点

4.523

判定

A

◇市民からの主な記述意見

- ・公共施設だけでなくスーパー等と連携して、回収拠点を増やしてほしい
- ・ごみ減量化にもつながるので、回収品目を増やしてほしい

(5-6)生活の安全、安心確保について①

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・子どもや女性、高齢者の安全確保に向けた取り組みをさらに進めるため、「大仙市安全・安心まちづくり推進集会」を開催するとともに、市民との協働による自主防犯・防災組織の結成促進を図るため、「安全・安心アカデミー」を開催します。
- ・**秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部と共催で、地震や災害を想定した総合防災訓練を神岡地域で開催する予定です。**
- ・全市の浸水想定区域や、洪水・地震時における避難所、避難場所などを明示したハザードマップを作成し、全戸に配布する予定です。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年8月29日、秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部と市の共催で総合防災訓練を実施しました。各団体とともに495名の市民が参加しました。

平成20年度は神岡地域での実施でしたが、地域を変えて総合的な防災訓練を実施することで、それぞれの地域で防災意識の高揚を図るとともに、地域ごとの問題点を探る機会となることから、今後も継続していきたいと考えています。

(担当は 消防安全課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計	平均点	判定
実数	210	172	35	4	4	10	435	4.365	A
構成比	48.28%	39.54%	8.05%	0.92%	0.92%	2.30%	100.00%		

◇市民からの主な記述意見

(5-6)生活の安全、安心確保について②

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・子どもや女性、高齢者の安全確保に向けた取り組みをさらに進めるため、「大仙市安全・安心まちづくり推進集会」を開催するとともに、市民との協働による自主防犯・防災組織の結成促進を図るため、「安全・安心アカデミー」を開催します。
- ・秋田県消防協会大仙市仙北市美郷町支部と共催で、地震や災害を想定した総合防災訓練を神岡地域で開催する予定です。
- ・**全市の浸水想定区域や、洪水・地震時における避難所、避難場所などを明示したハザードマップを作成し、全戸に配布する予定です。**

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年10月16日号の広報と一緒に「大仙市防災ハザードマップ」を市内全戸に配布しました。また、ポスター(洪水、震災用)を作成し、市施設など600ヶ所に掲示しました。どちらも大仙市の方が一の災害時にマニュアルとして活用するものです。

作成にあたっての費用は、防災関係企業や地域の事業所の方々との協力により、広告収入でまかなわれました。

(担当は 消防安全課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計	平均点	判定
実数	240	138	33	15	3	6	435	4.392	A
構成比	55.17%	31.72%	7.59%	3.45%	0.69%	1.38%	100.00%		

◇市民からの主な記述意見

- ・ハザードマップの全戸配布にとどまらず、いざという時のための周知徹底が必要
- ・緊急時の安心安全のためにも、全市的に避難場所への看板等設置を望む

(5-7) 雪対策の強化について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・**消雪(融雪)施設及び流雪施設の新設や更新に対し、補助金等交付要綱に基づき補助金を交付します。**
- ・日常生活に支障のあるひとり暮らし高齢者世帯や障害者世帯を対象に、大雪の際、緊急的に家屋周辺の除雪や自宅敷地内の通路確保を市の職員が行う「要援護者緊急除雪事業」を継続して実施します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

要望のあった8組合全てに対し補助を実施しました。内訳は以下のとおりです。

- ・**消雪パイプの新設** 1組合(1,000,000円)
- ・**消雪パイプの更新** 6組合(5,360,800円)
- ・**揚水施設の更新** 1組合(254,100円)

(担当は 道路河川課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	228	152	37	7	3	8	435
構成比	52.41%	34.94%	8.51%	1.61%	0.69%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.393	A

◇市民からの主な記述意見

- ・設備とともに、除雪体制についても強化を図ってほしい

6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり

(6-2) 男女共同参画の形成について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・男女共同参画に関わりのある講師を招いて、市民、事業者を対象とする講演会を開催し、男女共同参画の意識啓発を図ります。
- ・男女共同参画に関する写真と一行詩を募集し、日常生活における身近な男女共同参画への気付きや考える機会を提供します。
- ・男性料理教室を開催し、男性の家事への参加を促進するとともに技術の習得の機会を提供します。
- ・**主に市内の小中学生を対象とし、思いやりや相手を尊重する大切さが伝わる内容の映画の鑑賞会を開催します。同時に、男女共同参画に関する朗読劇を行い、男女共同参画の意識啓発を図ります。**

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

記憶が80分しかもたない主人公とその周囲の人を描いた映画「博士の愛した数式」の上映とともに、その前段には男女の役割や職業意識について考えてもらおうと、担当課職員による寸劇を行いました。

小学生から年配の方まで幅広い年代の約200名が参加しました。映画鑑賞により、思いやりの心や感謝の気持ちをもつことの大切さについて感じていただけたと、また寸劇で男女共同参画を身近な問題であると捉えていただけたと考えています。

(担当は 男女共同参画・交流推進課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計	平均点	判定
実数	116	170	106	22	11	10	435	3.842	B
構成比	26.67%	39.08%	24.37%	5.06%	2.53%	2.30%	100.00%		

◇市民からの主な記述意見

- ・参加者が増えるよう、スケジュールの調整や様々な取り組みを検討すべきと思う

(6-4) 国際交流の促進について

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・**韓国青少年北ソウル連盟の受け入れに加え、新たに韓国唐津郡との青少年相互交流を開始し、大仙市の資源を活用した国際交流の推進と市内の学校や市民との交流を実施し、国際交流に対する市民の興味・関心の醸成を図ります。**
- ・「アジアにおける稲作文化」をテーマとして、10月に国際アジア民俗学会を開催します。これは、旧西仙北町と韓国唐津郡の大綱引き交流がきっかけとなって実現したものであり、アジア約7ヶ国から40名程度の学会会員が来秋して行われる本市で初となる国際会議です。この学会にあわせて、市民の国際理解・協力の促進を図る「国際理解・協力事業」や、国際理解を図るうえで重要となる郷土を理解する「郷土文化再発見事業」等を行います。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

- ・韓国青少年ツアー受入事業

夏に1団体、冬に3団体の計4団体が大仙市を訪問しました。学校交流(大曲農業高校、協和中学校、中仙中学校、刈和野小学校)やホームビジット、日本文化体験(お茶、着物、陶芸、餅つき)などを通じて相互の国際理解を深めました。

- ・韓国唐津郡青少年交流事業

11月13日～17日に大曲中学校の生徒8名と引率者3名を唐津郡に派遣しました。当地の湖西中学校との学校交流やホームステイにより、両地域の相互理解、異文化間での交流を深めました。

(担当は 男女共同参画・交流推進課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計	平均点	判定
実数	83	160	135	37	15	5	435	3.602	B
構成比	19.08%	36.78%	31.03%	8.51%	3.45%	1.15%	100.00%		

◇市民からの主な記述意見

7. 計画の推進にあたって

(7-2) 市民との協働について①

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・各地域が抱えるそれぞれの課題に対して、住民と行政の協働により課題の解決を目指します。
- ・「市民との協働のまちづくり」の基礎となる自治会の育成という視点から、引き続き支援を継続します。
- ・コミュニティ機能が低下した小規模集落の維持・再生を図るため、アンケートの実施や、コミュニティ再生の方針と活性化に向けた具体的支援策を検討します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

各地域が抱えているそれぞれの課題に対して住民が自主的かつ主体的に行政と一緒に事業を行い、市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、各地域において地域協議会との協議を踏まえ、地域予算を活用した事業を展開しました。

各地域に設けられている地域協議会において、各地域の課題を掘り起こすとともに、地域として目指すべき方向性等を示した地域振興計画を策定しました。

(担当は 総合政策課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	144	182	78	10	3	18	435
構成比	33.10%	41.84%	17.93%	2.30%	0.69%	4.14%	100.00%

平均点	判定
4.089	A

◇市民からの主な記述意見

(7-2) 市民との協働について②

◇前回評価いただいた事業の内容(全体)です。

- ・各地域が抱えるそれぞれの課題に対して、住民と行政の協働により課題の解決を目指します。
- ・**「市民との協働のまちづくり」の基礎となる自治会の育成という視点から、引き続き支援を継続します。**
- ・コミュニティ機能が低下した小規模集落の維持・再生を図るため、アンケートの実施や、コミュニティ再生の方針と活性化に向けた具体的支援策を検討します。

◇左の事業のうち、太字の部分の取り組み実績です。

平成20年度は以下のような自治活動や地域作り活動を行った自治体に対して補助金を交付しました。

- ・清掃・美化・整備等の環境保全事業
- ・まつり・地区運動会等のイベント事業
- ・地域文化・地域芸能の保全事業
- ・各種ボランティア活動事業
- ・地域の安全・安心に関わる事業
- ・その他地域交流イベント、納税意識の高揚、自治会報発行等の事業

また、地域で自主運営している会館の維持管理費として、世帯数に応じた補助金を交付しました。

(担当は 総合政策課 です)

◇この取り組み(事業)は今後も必要と思いますか。

	必要	ある程度必要	どちらともいえない	あまり必要でない	必要でない	無回答	計
実数	181	184	50	10	2	8	435
構成比	41.61%	42.30%	11.49%	2.30%	0.46%	1.84%	100.00%

平均点	判定
4.246	A

◇市民からの主な記述意見

- ・市民だけでなくNPO法人などとも連携し、官民一体となった街づくりに努めてほしい。

V まとめ

1. 必要性（有効性）の結果について

一次調査対象 24 分野 75 事業のうち、二次調査対象とした 18 分野 23 事業の結果は、A 判定 20 事業、B 判定 3 事業となりました。下表は、それぞれの事業を加重平均点の高い順に並べたものです。

なお、今回質問した 23 事業の加重平均点の平均値は 4. 219 となりました。

【二次調査中の必要度調査の結果】

順位	分野(事業)	平均点	判定
1	1-4 高齢者福祉の充実について(包括支援事業・任意事業)	4.607	A
2	3-5 雇用の安定、就労の促進について(大仙市雇用助成事業)	4.547	A
3	5-4 衛生環境の整備について②(廃棄物減量化対策事業)	4.523	A
4	1-2 子育て支援の充実について(児童健全育成推進事業)	4.401	A
5	5-7 雪対策の強化について(消雪施設等補助事業)	4.393	A
6	5-6 生活の安全、安心確保について②(防災ハザードマップ作成事業)	4.392	A
7	5-6 生活の安全、安心確保について①(総合防災訓練事業)	4.365	A
8	5-4 衛生環境の整備について①(ごみ不法投棄防止関係事業)	4.339	A
9	3-3 工業の振興について(企業誘致対策事業)	4.328	A
10	1-1 保健・医療の充実について(自殺予防対策事業)	4.320	A
11	7-2 市民との協働について②(自治会育成支援事業費補助事業)	4.246	A
12	4-5 下水道の整備について(公共下水道事業)	4.233	A
13	4-2 公共交通の整備について(地域公共交通システム運行事業)	4.232	A
14	2-1 学校教育の充実について②(心ふれあうさわやか大仙事業)	4.224	A
15	2-1 学校教育の充実について①(外国語指導助手等招致事業)	4.152	A
16	4-1 道路の整備について①(生活道路整備事業)	4.124	A
17	2-2 生涯学習の推進について(放課後子ども教室推進事業)	4.105	A
18	3-1 農林水産業の振興について(産地づくり推進事業)	4.092	A
19	7-2 市民との協働について①(地域振興事業)	4.089	A
20	4-1 道路の整備について②(幹線道路整備事業)	4.021	A
21	3-2 商業の振興について(商工団体補助事業)	3.865	B
22	6-2 男女共同参画の形成について(男女共同参画推進事業)	3.842	B
23	6-4 国際交流の促進について(韓国青少年ツアー受入事業、韓国唐津郡青少年交流事業)	3.602	B

2次調査の結果、必要度の加重平均点が一番低かった「6－4 国際交流の促進について（韓国青少年ツアー受入事業、韓国唐津郡青少年交流事業）」においてもその点数は3.602とB判定の中位に位置しており、質問した事業全般において肯定的な評価をいただきました。この「6－4 国際交流の促進について（韓国青少年ツアー受入事業、韓国唐津郡青少年交流事業）」については、「どちらともいえない」という選択肢が多く選ばれたことから、市民生活全般への関連性が薄い事業であることが伺え、今回のこの平均点に結びついたのではないかと考えられます。

必要度の加重平均点が一番高かった「1－4 高齢者福祉の充実について（包括支援事業・任意事業）」については、4.607という高評価をいただきました。事業の目的と市民のニーズが適合した結果であると思われます。この事業の継続的な実施を図るとともに、市民からの意見として多く挙げた「周知の徹底」を推進することが必要であると考えられます。

また、「6－4 国際交流の促進について（韓国青少年ツアー受入事業、韓国唐津郡青少年交流事業）」以外の事業については、必要度調査の加重平均点が1次調査の期待度調査の加重平均点より上がりました。2次調査対象とした個々の事業が1次調査でうかがったそれぞれの施策を推進するにあたって、重要なものであると市民の皆さんが考えていると読み取ることができます。

2. 調査結果の今後の活用について

今回の市民評価の結果については、大仙市ホームページ及び広報だいせんを通して公表するとともに、市役所内関係部署に周知します。

市民の目線から見た事業の必要度について、それぞれの加重平均点に即した原因の分析や今後の事業の展開方法について各所管課が検討し、今後の大仙市の方向性を定める指針としていくことで、市が進める「市民と協働のまちづくり」の一端を担うものとしていきたいと考えます。